

# 人権学習展開例

●主題名 インターネットと同和問題(部落差別)

●教材名 今でも部落差別はあるのですか。

●人権学習の視点 個別的な視点「同和問題」

●主題・教材について

人権に関する意識調査結果から、インターネット等の急速な普及によって、これらを悪用した人権侵害事例がむしろ増加傾向であることがわかる。特に、人権問題の今日的課題として、インターネットの掲示板等への書き込みに氾濫する悪質な言説を不特定多数の人々が閲覧し、興味本位に拡散したり、誤った感覚を追認し無自覚に差別意識が形成されたりすることが懸念される。

誰もが、豊かに幸福に暮らせる社会の構築に向けて、私たち一人一人の行動が求められている。何もしない傍観者ではなく、差別や矛盾に立ち向かうことが大切であり、自分自身にもできる具体的な行動や差別解消に向けたあり方について考えさせたい。

●ねらい

同和問題(部落差別)は、様々な対策の結果、生活環境など実態面での改善が進んだが、意識の面では依然として課題がある。さらに、インターネットの普及とともに、個人情報の流出や匿名性を悪用した差別的な書き込みがある。生徒が正しく同和問題(部落差別)の歴史や現状を学ぶことで、偏見等の過ちに気づき、差別を許さないという行動ができる力を育む。

●関連する教材

人権学習資料集(高等学校編) 「16 情報社会に潜む罠を発見せよ」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○自分のスマートフォンやインターネットの使い方を振り返る。	一斉 個人	○ワークシートのチェックリストに記入する。		ワークシート
	<b>インターネットと人権が、どのように関係しているか考えてみよう</b>				
展開	○インターネットの利便性について考えさせる。	グループ	○グループワーク① ○インターネットの利便性をグループで話し合い、ワークシートに記入する。		
	○部落差別解消法について把握させる。  ○部落差別に対する感覚について質問を通じて意識をさせる。  ○部落差別解消に向けた法律等について確認させる。	一斉	○情報化の進展に伴う状況の変化を具体的に知る。  ○各自で質問について考える。  ○講義を聞く。	○部落差別が、現在も存在しているという基本認識に立つ。  ○部落差別に対する感覚は、本時の授業の最後で整理をするため、2つの感覚に絞らせて授業を展開する。  ○実態的差別は確実に改善してきたという基本認識に立つ。	提示資料  プロジェクト ワークシート

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	<b>社会の中の意識について把握し、問題解決の方向性を考えてみよう</b>				
	<p>○人権教育及び人権啓発をめぐる国民の意識を把握させる。</p> <p>○差別をなくすためにはどうすればよいかを考えさせる。</p> <p>○私たち一人一人にできることを評価する。</p>	グループ	<p>○講義を聞く。</p> <p>○グループワーク② ○グループで話し合う。</p> <p>○現状に関するヒントをもとに再度話し合う。</p> <p>○各グループの話し合い結果を出し合い、共有する。</p>	<p>○一方で今日的課題は言語や文字等を通して顕在化する心理的差別の解消を図ることであることを明示する。</p> <p>○心理的差別の解消や意識の高揚のために何が必要なのかを考えさせる。</p> <p>○討論の行方を見守りながら、タイミングを計って、ヒントとして「インターネットの中での差別」を提示する。</p> <p>○間違った情報、拡散すべきでない情報でも、多くの人が閲覧するほど検索上位になるなど、インターネットの利便性が課題を大きくすることに気づかせる。</p> <p>○問題点を知った際に、それを放置することは、直接的・間接的に差別の助長につながることに気付かせる。 ○明らかに不適切な意見は、その場で必ず訂正をする。</p>	
まとめ	<b>同和問題(部落差別)に対する感覚を見直そう</b>				
	<p>○同和問題(部落差別)に対する感覚を再度振り返らせる。</p> <p>○人権問題の解決に向けてまとめ。</p>	一斉	<p>○研修会などへの積極的な参加や自分事としての気づきが、すべての差別をなくしていくために重要であることを理解する。</p> <p>○社会問題としての人権問題は、「差別する人」、「差別される人」だけの問題ではなく、日本社会、学校、個々が所属する集団として解決をめざすことが必要であることを理解する。</p>	<p>○本時の最初に部落差別に対する感覚を提示している。生徒が、示した内容をどのよう捉え、気持ちが変わっているか注意深く見る。</p>	

### ●評価

- ・「平成30年版人権教育・啓発白書」から、自分の人権意識について振り返ることができたか。
- ・人権問題の解決に向けた「知識」、「態度」、「行動」の大切さに気づいたか。